

栄光にも本日、私は名門の貴・創価大学より「名誉博士号」を拝受しました。

私は世界各国のさまざまな大学から名誉学位を頂いておりますが、創価大学からの名誉学位は、これまで頂いた中で最も誇らしい学位です。それは、私が最も尊敬する池田先生が創立された大学であり、また、池田先生の素晴らしい弟子がいる大学だからであります。

私は、師弟というものは単に技術を教え、学ぶ関係ではなく、永遠に愛情と信頼を分かち合う交わりの関係であると思います。

1999年12月に池田先生に初めてお目にかかりましたが、その感動は今でも忘れることができません。配慮に満ちたお言葉と、謙虚でありながら、真心が感じられる先生のお姿から、相手を思う深い配慮と、人間に対する慈愛を感じました。

真の指導者とは、いつも民衆と共にあり、人を愛する、真に立派な人間性の所有者のことなのだ、池田先生を通じて深く知ることができました。私が常日頃、備えていたいと思い、また実践に移そうと努力していた姿が、池田先生の姿でありました。

池田先生は、弟子である皆さん一人一人を大切にされています。池田先生は、青年たちに“偉い人になるより、人柄の良い人になってほしい”と語っておられます。本当に正しいお言葉です。

真に素晴らしい人間とは、偉い人であるよりも人柄の良い人、人格の立派な人です。普通の姿をしていても、人柄の良い人が一番、素晴らしいのです。

私がソウル大学で総長として在職していた当時、大学に入学した学生たちに常々話してきたのは、「人を愛する人間になりなさい。身近な親、兄弟、師匠、そして祖国、また本当に困っている人、貧しい人を、心から助ける人間になりなさい」ということです。

皆さん一人一人は、弱い存在かもしれませんが、しかし、きょうの姿のように、団結した力で立ち上がるならば、憎悪と不信が渦巻く弱肉強食のこの社会にあって、必ずや素晴らしい使命を果たしていけると確信します。

美しき共同体

“一国の将来を知るためには、その国の大学を見よ”という言葉があります。私はまさにきょう、その姿を見ました。美しい教育の伝統と共同体の姿を見ました。皆さんもよくご存じだと思いますが、現在、日本と中国、韓国の関係は、あまり良い状況ではありません。また、歴史的にもさまざまな問題がありました。

しかし、その中でも韓国から200を超える名誉道民・郡民・市民証、特別顕彰等、そして、多くの大学の名誉学術称号、国家勲章を受けておられる方は、日本だけでなく世界をみても、池田先生しかおられません。中国においても、110以上の大学・学術機関から名誉学術称号が贈られていると伺っています。

池田先生は、単に創価大学の創立者、思想家、詩人であるというだけではありません。天が遣わせた、世界平和の先導的な指導者であると、私は考えております。

皆さんも池田先生の後を継いで、世界平和のために尽力していただきたい。年老いて力はある

ませんが、私も池田先生が追求されてきた世界平和のために、最後の余力の全てをささげて、努力していきたいと思っています。

池田先生は、真実の愛とはどういうものか、真の正義とは何か、人を許すとはどういうことか、和解とは何か——を全て教えてくださっています。

皆さん一人一人が池田先生と同じ人間主義に立って、世界に、未来に、大きく羽ばたかれること、そして幸福な人生を歩まれることを確信して私のあいさつに代えさせていただきます。

大変にありがとうございました。

*イ・スソン

1939年生まれ。ソウル大学教授、法学部長等を経て95年に第20代総長に就任。同年、韓国首相に抜擢され、97年まで務めた。